

# 女子高生による ほしいもゼロイチ大作戦 vol.1

2015年7月21日



## 作戦その1 プロジェクト キックオフ！

大成女子高等学校のクラブ活動である探究部は、茨城県の地域ブランド調査2年連続最下位を返すべく、活動を開始しました。その名も、女子高生による「ほしいもゼロイチ大作戦」。地元のほしいも業者さんらからなる「ほしいも学校」のご協力と、東京大学発で高校生へのイノベーション教育を行う団体「i.club」のご指導をいただきながら、茨城の魅力を全国に発信していきます。茨城の特産品である「ほしいも」を題材に、女子高生のアイデアで0から1を生み出す、新商品開発のプロジェクトです。

4月11日に決意表明会、25日に第1回フィールドワーク調査@東海村、5月9日に第2回フィールドワーク調査@ひたちなか市を行いました。

### 決意表明会（4月11日）

#### 私がプロジェクトに関わる理由

「今まで無かったものを自分たちの力で作りあげるということは、私がこれから生きていく中で今しかないと思ったから。たのしい活動なのに部活であり、県内でも初の挑戦ということで『初』という響きがカッコよかった。あと何よりも、茨城にだっていいところがある！ってみんなに知ってほしいと思ったから。茨城を知る良い機会にもなる。」3年 滝田叶美

#### 地域で0から1を生み出す意気込み！

「今まで知らなかった地域の良さをたくさん知れるということが、今からとっても楽しみです。自分たちでアイデアを出したり、たくさん地元の人と関わったりして、このプロジェクトを成功させられるように、みんなと協力して頑張りたいと思っています。」3年 蓮見彩奈

【本件に関するお問い合わせ先】

大成女子高等学校 メディア統括部 教諭 鈴木博之

Phone: 029-221-4888 E-mail : tghs-info@taisei.ac.jp

# 女子高生による ほしいもゼロイチ大作戦 vol.1

2015年7月21日



## 作戦その1 プロジェクト キックオフ！

### 第1回フィールドワーク調査 @東海村（4月25日）

東海村の生産者である照沼勝一商店さんをお訪ねしました。

#### 現場を見せてもらい感じたこと

「たくさんいろんなことを試し、日々挑戦しながら美味しくなるほしいも作りをしていることが分かり、何だか感動しました。今かかえている現状を少しでも良い方向へと変えていこうとしている前向きな考え方も、とても参考になりました。やはり私たち以上にほしいものをよくご存じで、その方から教えてもらえることはとても貴重だと実感しました。」3年 中村真子

#### ほしいも作りの奥深さを見た

「照沼さんはさつまいも作りの土からこだわっていて、本当に手間暇かけて作られている。特に驚いたのは、うまききれいにできるほしいもは全体の20%だということ。また、いもの皮の処理や季節との戦いが課題だと知った。私の出身地の那珂湊が、ほしいも用の『たまゆたか』作りに一番適していると聞き嬉しかった。」3年 川本李音

### 第2回フィールドワーク調査 @ひたちなか市（5月9日）

ひたちなか商工会議所で、生産者の方や新商品開発に関わった方に話をお聞きしました。

#### アイデアをまとめる作業は大変

「前回よりも細かい話まで聞くことができた。商品をお店に売るときに、商品そのものだけでなく、パッケージや名前、値段なども売り上げに大きく関わっていることが、あたりまえではあるが、考えると大変なことだと思った。何カ月も何年もかけて商品を作ったお話を聞き、短い期間で1つのモノを作っていくか不安に思った。」3年 小島奈々

#### 大人数のフィールドワークで緊張

「今回新しく学んだことは、商品開発がいかに大変であるかということです。特に、ほしいもは、すでに加工されている食べ物なので、よく考えて開発していかないといけないと思いました。今回の難しかったところは、自分の思ったことを相手に伝えることです。今までより大人数のFWだったので緊張しました。」2年 鶴町杏香

### 今後の活動予定

7月30日：アイデア発表会  
8月21日：試作品づくり  
9月12日：文化祭で  
          ポスター発表  
10～11月：試作品発表



【本件に関するお問い合わせ先】

大成女子高等学校 メディア統括部 教諭 鈴木博之

Phone: 029-221-4888 E-mail: tghs-info@taisei.ac.jp